

◎12月，1月の森林講座開催について

多摩森林科学園の「森の科学館」で開催しております森林講座・平成12年度第7，8回を下記の要領で行います。
参加費は無料です（ただし入館料300円）。どうぞお気軽に多摩森林科学園までお問い合わせ・お申し込み下さい。

第7回 12月15日（金）13:15～15:00

タイトル 緑のダム -土のはたらきと人のかかわり-
森林の貯水力は，流入口と水瓶を兼ねる土次第です。その仕組みと山の扱い方についてお話し
します。
講 師 三浦 寛（森林環境部立地環境科土壌物理研究室 主任研究官）

第8回 1月23日（火）13:15～15:00

タイトル -日本における巨樹・名木 -巨樹を楽しむ
巨樹・名木は我が国の貴重な資産・資源ですが，減少しています。減少の実態と対策をお話しします。
講 師 樋口國雄（生産技術部 主任研究官）

会 場 多摩森林科学園 森の科学館
〒193-0843 東京都八王子市廿里町1833
交 通 JR・京王線高尾駅より徒歩約10分
申込・問合せ 多摩森林科学園 Tel.0426-61-0200

◎リストアップ（2000-1～12）

1～12月	巻 頭 言	リサーチトピックス	研 究 解 説	シリーズ
No.136	紀元2000年の年頭に当たって	・小規模デルタ・エスチュアリ型及びサンゴ礁型マングローブ林の地下部炭素蓄積機能の評価 ・四万十川流域の生物多様性に関するデータベース作成と調査手法の検討	・人工林内に更新した天然樹種群タイプとその侵入環境要因	暮らしの中の木材第10回 こんなところに木材チップ
No.137	フットワークとネットワークが必要	・森林資源調査による花粉発生源分布の把握とその推移予想	・樹木の水分通導機能の消失に及ぼす水ストレスの影響	暮らしの中の木材第11回 楽器用木材の性質
No.138	「マングース撲滅計画」で思いうこと	・熱帯山岳地帯における森林の植物多様性，構造及び機能に関する調査研究 ・不均一な林冠構造に対応した光環境のシミュレーション	・木材細胞壁中のセルロース結晶の性状とその分布の解明	暮らしの中の木材第12回 音楽用木材の性質（2）
No.139	新基本法への期待		・木材穿孔性害虫オオゾウムシの生活史と被害回避	暮らしの中の木材第13回 バット
No.140	21世紀における持続的発展への移行に向けて	・被陰栽培試験による温帯樹種の光要求性の評価 ・昆虫病原性糸状菌を培養した不織布によるマツノマダラカミキリの防除技術		暮らしの中の木材第14回 木になる樹
No.141	元気な林業が豊かな森林を	・スギカミキリの継代飼育技術の向上 ・DNA分析による菌根判別技術の開発		暮らしの中の木材第15回 家具材の乾燥
No.142	新しい高性能林業機械化促進基本方針について思ったこと		・森林レクリエーション利用者が認識する風景 ・常緑広葉樹林床の光環境と主要構成樹種の反応	暮らしの中の木材第16回 木を曲げて使う
No.143	何故，海外研究が必要か？ 荒廃地の修復は一つの具体的な持続的森林管理の方法である	・広葉樹の形質転換系の開発 ・ササの動態と樹木の更新を野ネズミの活動と共に評価する	・土壌湿生動物の分類及び検索	暮らしの中の木材第17回 スギ造林の伝統とこれから
No.144	50年前のこと50年後のこと -持続的発展の基本デザインは？-	・森林生態系の生産力維持に関与する根圏の多重共生機能の解明	・雨水供給の非定常性の影響が森林土壌中の水移動及び保水特性に与える影響	暮らしの中の木材第18回 こんなところにも木材の性質を活用
No.145	「林産エコ」プロジェクト	・きのご変異発生予防技術の開発	・樹木抽出成分等の利用による機能性・木質系内装材料の開発	暮らしの中の木材第19回 建築材料としての木材
No.146	2000は自然災害（洪水，火山，地震）の年か		・関東地方におけるスギ・ヒノキ花粉発生源分布の把握とその推移予測 ・二ホンキバチの施業的防除法に関する研究	暮らしの中の木材第20回 木造住宅の構法いろいろ
No.147	巨大ゲノム科学技術が展開する中で		・多雪地域の大規模地すべり地における地下水挙動の解明 ・全天空写真撮影による林内微気象の推定	暮らしの中の木材第21回 地震と木造住宅